

2019年度 第1回 エヌ・シー・ティ放送番組審議会

1. 開催日時：2019年9月25日（水）10:30～13:00
2. 開催会場：エヌ・シー・ティ本社 3F 大会議室
3. 委員総数 7名 出席委員 6名

出席委員	
委員長	長尾 弘
委員	清水 陽子
委員	田村 栄一
委員	長谷川 和明
委員	水内 智憲
委員	米持 克広

放送事業者	
今泉 道雄	代表取締役社長
若月 栄弥	常務取締役
奥倉 正博	顧問
大久保 泰宏	取締役地域情報部長
野本 隆行	地域情報部次長
東條 真一	地域情報部課長
新保 朋恵	地域情報部課長

※欠席委員：ヨールグ・ビューラ
敬称略、順不同

4. 議題

(1) 報告事項

- ✓ 4月の番組改編
- ✓ 越後三大花火生中継
- ✓ 道路情報カメラの充実
- ✓ NCT開局30周年記念事業 ほか

(2) 審議事項及び審議番組

- ✓ 「ながおか i（2019/7/1 放送、2019/7/15 放送）」
- ✓ 「さん SUN 三条（2019/7/2 放送、2019/7/16 放送）」
- ✓ 「見附ネーブル放送局（2019/7/3 放送）」
- ✓ 「Do! おぢや（2019/7/5 放送）」
- ✓ 「さとキッチン（2019/7/18 放送）」
- ✓ 「はっちーぱっちー遊覧飛行（2019/7/1 放送）」
- ✓ 「長岡まつり大花火大会（2019/8/3 生中継）」 ほか

(3) その他

5. 議事の概要

(1) 4月の番組改編について

① NCT ニュースについて

- 15分番組に短縮された当初は少し抵抗感があったが、慣れてきた。
- スマートになって見やすくなった。市政に関わる話題もきちんと取り上げられており、バランスもよい。
- 古塩アナウンサーのニュースアナウンスが上手だと思う。
- 新しい丸山アナウンサーは、2018年長岡雪しかまつりの雪の女王。地域に貢献できる仕事をされているなと思ってきている。
- 天気は皆さん共通の関心事。長岡の気象予報士を起用している点が良いと思う。

② 地域情報番組について

- 『Do！おぢや』ではレポーターの目線が気になった。カンペを出す位置の工夫をした方がもっと良くなる。
- 長岡市民としては、サービスエリアの拡大に伴い、長岡に関する情報が減るのではないかと心配したが、『ながおか i』など面白く見ている。長岡以外の地域の情報番組も参考になる。
- 『ながおか i』のラーメンカタログは、「行ってみたい！」と思わせる番組だった。
- 特に食べ物、美味しそうに見せるような努力をしてほしい。食べている方の映像があると尚よい。
- 食べ物や施設の紹介の中には、見た目の良い印象を受けない所もある。事実をそのまま伝えるのがよいのか、あるいは、放送では良く見えるように努力することがよいのか。
- 毎月見ていると、それぞれのレポーターの日々の成長が感じられて面白い。ケーブルテレビならではのあたたかい雰囲気が感じられる。
- リポーターによって左右される部分もあるが、番組の出来栄えには濃淡が目立つ。
- ターゲットとしている視聴者はどのような層か？
⇒【事務局】 当該地域の皆さんは当然として、他の地域の方にも「行ってみたい！」と思ってもらえるような情報発信を心掛けている。

③ 空撮番組について

- ドローンの撮影技術が素晴らしいと思った。
- 自宅の近所が放送された時は、校歌を歌いながら見た。
- ドローン撮影の許可はとっているのか。
⇒【事務局】 全て教育委員会の許可を得た上で撮影している。
- 普段の目線で見ることができない映像を見せてもらえるのがよい。テロップ等の工夫があっても良い。
- 現状は長岡の学校だけとのことだが、是非とも三条でも同じような番組を制作してほしい。
- 個人的には写真が趣味。行ってみたいスポットが各市町村に残っており、是非番組で紹介してほしい。

④ その他、新番組など

- いざという時にチャンネルを合わせてもらうための取組が重要。そのために、平時にも見てもらえるような取組として、今回の様々なチャレンジは評価できる。
- さとちゃんは面白いし、ファンも多い。人気のあるタレント起用は、番組の魅力の一つだと思う。
- 『さときっちん』の古川先生とさとちゃんの掛け合いが面白い。キャスティングは大事だと思った。
- 三条風合戦の番組では、番組冒頭に独特のルールの説明があり、非常によかった。他局のスポーツ中継を見ていると、丁度よいタイミングでルール説明のテロップが表示されることもあり、視聴者としては楽しみが倍増する。民放の番組も参考にしてチャレンジしてほしい。

(2) 越後三大花火生中継について

- 今年も他局の中継があったが、NCT が会場で見える花火に一番近いものを見ることができた。他局とは桁違いで、NCT の中継が一番よかった。
- 撮影、テロップ等の画面構成等、毎年上手になっていると感じている。長年撮影し続けてきている経験が活きていると思う。大型花火についても、画面から溢れない撮影テクニックには感心する。
- 今まで花火は会場で見えるものだと思っていたが、今年初めてテレビで見てもいいものだと感じた。長岡花火の迫力も十分伝わってくる。会場アナウンスが聞けるのも良い。
- 自宅にいながら見られるのが嬉しい。テロップで名称や種類の解説があったのも良かった。
- 地元の人間としては、自宅にいながら、「打上げ開始でございます」が聞けるのは嬉しい。
- FM 三尺玉の音声と共に長岡花火を見られたのは良かった。
- タレントトークのない、そのまま見せる構成が良かった。
- J:COM を通じて全国各地の視聴者へ長岡市を PR する CM を放送できたのも、非常に意味があった。
- 撮影ポイントが知りたい。
⇒【今泉社長】 保安上の問題があるので公表していない。

- 三条の花火中継では、ナイアガラが一部切れていたのではないか？
⇒【事務局】 主催側との調整の結果、今年の撮影場所を決定した。

(3) その他

- 以前と比べて、放送内容がかなり充実してきた印象。制作の意向が明確な方針になっている。
- 中越地震の際、NCT の災害対策本部中継や車窓からの映像がとても役に立ったことを記憶している。災害の中に入り込んでテレビが情報を伝えていくのは、当時すごいことだと感じた。それほどケーブルテレビは市民生活に密着していると思う。
- 現代の若者はスマホを使いこなし、自分から SNS で情報を発信している。素晴らしいと思う一方で、自分の郷土をどのように捉えているのか…コミュニケーションは成り立っていくのか…と、考えてしまう。
- これからは、若者たちに郷土愛を感じてもらえるような街づくりが大事になってくると思う。その要として大きな役割を果たすのが、地域密着のケーブルテレビだと思っている。
- 引き続き、常にNCTの番組基準に立ち戻り、これに則った番組制作及び情報発信を行うことで、更なる地域貢献を期待したい。
- 「再放送が多いのではないか」という見方には賛否両論あるが、個人的には、ケーブルテレビの特徴・メリットと感じている。

以上